

西暦 2021年5月 //日

腫瘍内科に通院中あるいは通院されたことがある患者さんまたは腫瘍内科で実施した研究に参加された患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当診療科では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療または過去に実施した研究及び治療で得られた試料及び情報（以下、臨床情報という。）を用いて行います。

この掲示によるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

臨床情報の利用停止のほか、この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、「⑤ お問い合わせ先」へご連絡ください。

研究名：Establishment of Predicting Druggable Genes by Using Micro-specimens

微小標本における Druggable な遺伝子の予測法の確立

研究実施期間： 倫理審査委員会承認日 ～ 西暦 2023年 3月 31日

山形大学医学部倫理審査委員会承認番号：2021-16 号

（承認日 西暦 2021年5月 //日）

① 対象となる患者さん（研究の目的、臨床情報の利用目的及び利用方法）

山形大学医学部附属病院で実施されたゲノムパネル検査を受けた患者さんの試料から、次世代シーケンサーで同定された新薬が適応可能な標的遺伝子を、免疫染色においても、同等な結果を予測できるかを検討します。

ゲノムパネル検査を受けた患者さん、胃がんの患者さん、大腸がんの患者さんが対象となります。

② 利用する臨床情報

ゲノムパネル検査で同定された遺伝子情報を扱います。

※. 患者さん個人を特定できる情報は研究には利用しません。また、研究データ上にも残りませんので、本研究から患者さんの個人情報が出ることはありません。なお、研究の成果を公表するときにおいても個人情報が漏出することはありませんので、患者さんに危険や不利益が生じることはありません。

③ 誰が使用するか（研究実施施設及び責任者（利用する者の範囲、臨床情報の管理責任者））

研究実施機関の名称：山形大学医学部病理診断学講座

研究責任者：二口充

利用する者の範囲

氏名：大江倫太郎 所属機関：病理診断学講座 職名：講師

④ 研究への利用をやめてほしい場合

患者さんはいつでも、この研究にあなた自身の臨床情報を使用しないよう求めることができます。臨床情報の使用を認めなかったとしても、患者さんに不利益が生じることはありません。申し出をされる場合は本人又は代理人の方より、下記の連絡先までお問い合わせください。

ただし、使用停止を求めた時点で、研究結果が論文などで公開されていた場合には、完全に臨床情報の使用を停止できないことがあります。

⑤ 問い合わせ先

臨床情報利用の停止、そのほか質問したいことなどがありましたら、下記の担当者までご連絡ください。

山形大学医学部病理診断学講座

〒990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2

連絡先：TEL 023-628-5238 Fax 023-628-5240

E-mail：r-ooe@med.id.yamagata-u.ac.jp

担当者：大江倫太郎